


ADULT ONLY




俺嫁女王




OREYOME QUEEN



アヴリル：
そんな顔を
しないでくれ




こんな世の中だ
一日も早い
世継の誕生が
望まれているんだよ



分かって
います……



私は
女王ですから……



……
確かに僕達は
政略結婚だったかも
しれないが……

フッ

僕は君のことを
心から愛しているよ
アヴリル…



初めてだから
辛いかもしれない
けど

これは
大切なこと
なんだよ



私の
恥ずかしいところ…

全部
見られて

いっぱい
触られて…







こんなに
大きいの…?

うそ…



あ、あの

挿れるって…



——
ツツ!

こんなの
入ったら…

私…ツ!

いいかい?
挿れるよ…
アヴリル…ツ!





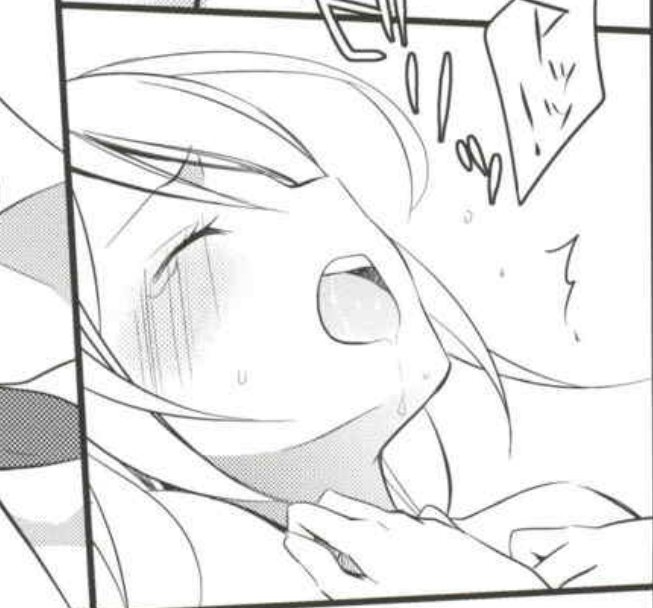
今…入ってるの…?

私の…中…ッ



いいよ
そのまま

力を
抜いて…





そんなに
上に逃げたら
抜けちゃうよ



ほらアヴリル
もっと
力抜いて





アヴリル：
出すよ……ッ！





うわ...

私の臆内...

ぐちゃぐちゃに
なってる...



でも
私は女王で

王家の血を
絶やさないために
必要なことで



この日のために
純血を守ってきたけれど...

けれど.....



この前は
うまく
できなかったから

今日はもうちょっと
できるといいな…



ソフ



ちょっと派手
だったかしら…

こういうの
あのヒト
好きかしら…



すまないけど
今日は一人で
寝てくれるかい？

あ、あのッ



アヴリル





アヴリル!

あ…

あの
どうして…

スワ
スワ

やっぱり
君を一人にしたのが
気になってね

ごめんね
淋しかったかい?

わ、私は
別に…ツ

みず
みず

…ッ!

せふん

はっ、
はっ

あま
みずみず





.....ツ
あなたが
悪いんですよッ!

アヴ...

私の
夫のくせに
グズだからッ!

待って...たのに...



ボッ



ご...ごめんよ
待っててくれたのに
悪かったね



...ごめん

もう
一人には
しないよ



アヴリル
すごく可愛い…

えと…

あの…

はうはう

そんなに
見ないで…

だって
僕のために
着てくれたんだろ？

べ、別に
そういう訳では…ッ

さっ

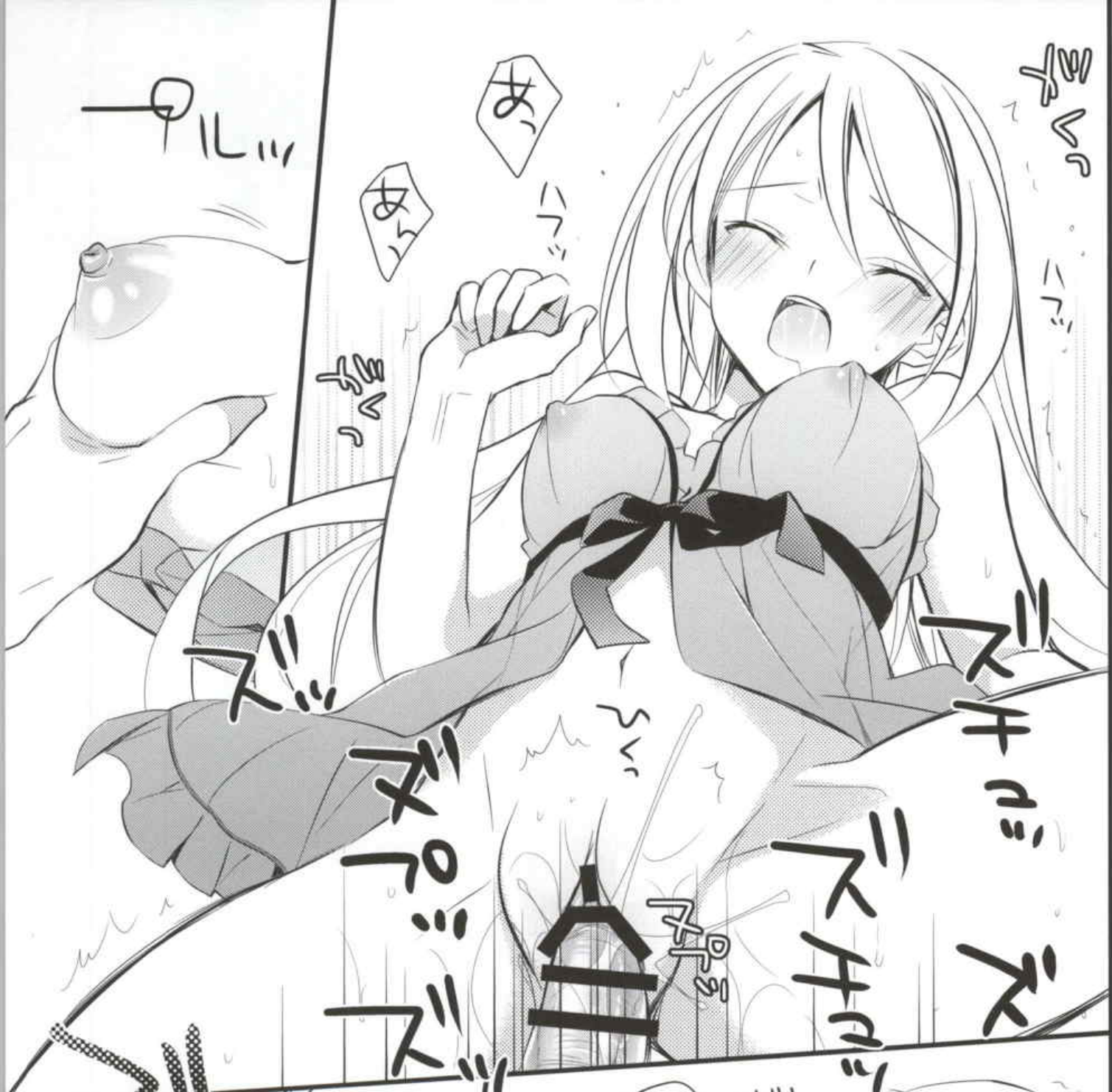
ほら
隠さないで

あ

っし



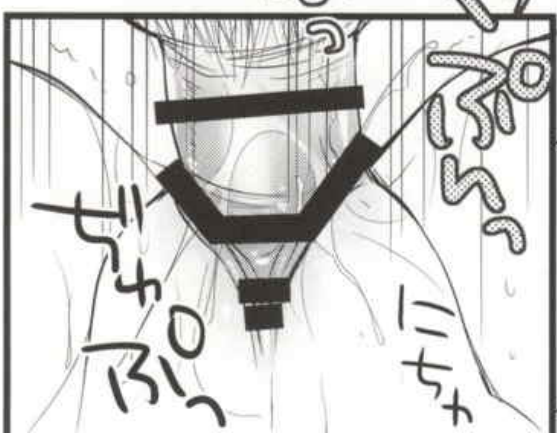


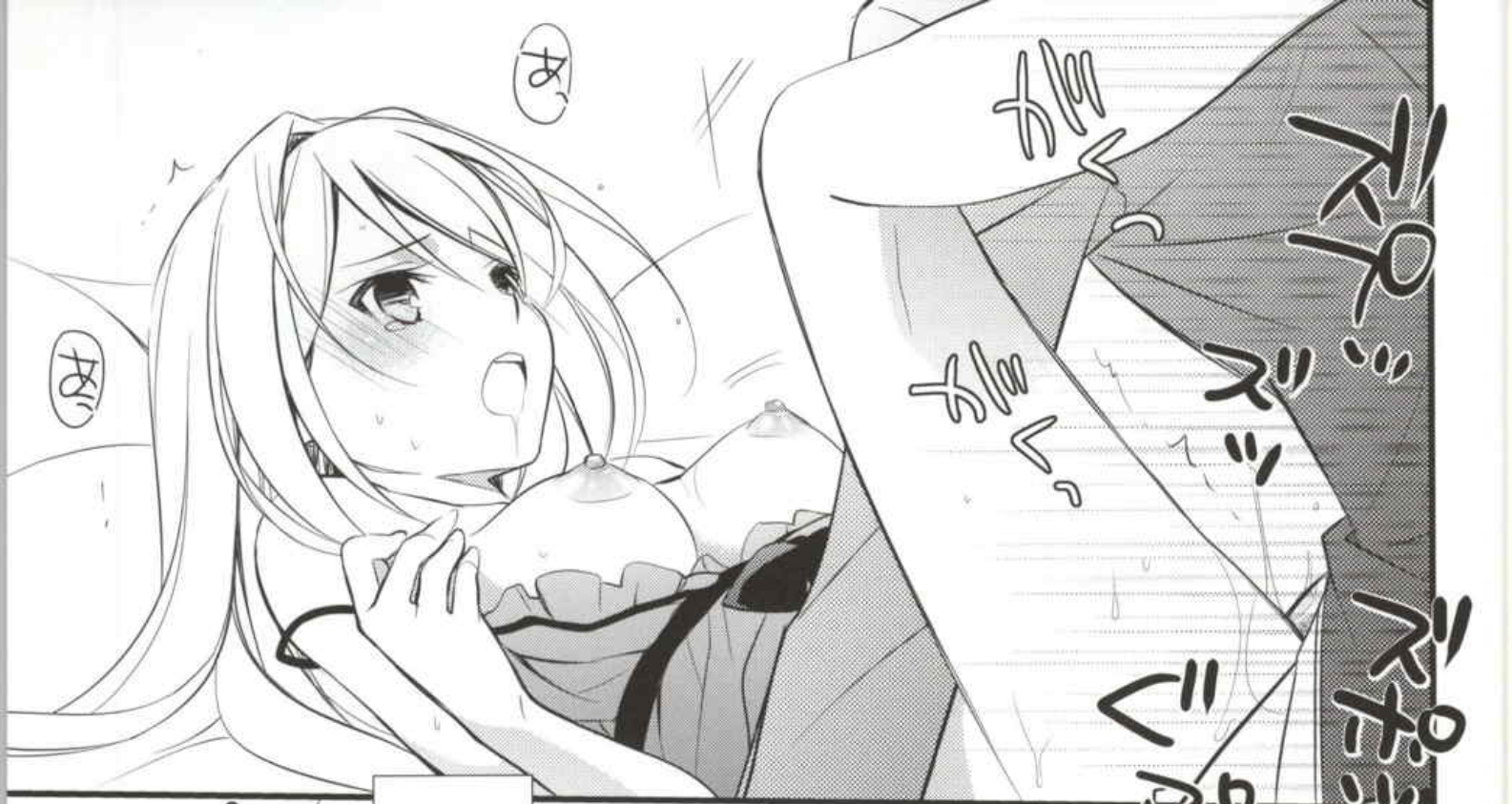


だって
今日のアヴリル
すごく可愛いから

待っ…
ちよっと…

激し…ッ





あふれて
止まらない…

私
こんなに…ッ



出る…ッ
アヴリルッ!

ひあ…ッ!

びくって…
ッ!

ヒッ
ッ

コ
ッ

ヒ
ッ

コ
ッ

コ
ッ

カ
ッ

コ
ッ

コ
ッ

ヒ
ッ



